

放送条約に関する対応の在り方についての検討経過報告

令和6年3月13日
放送条約の検討に関するワーキングチーム

1. 検討に至る経緯

「放送条約の検討に関するワーキングチーム」（以下「本 WT」という。）は、世界知的所有権機関（WIPO）の著作権等常設委員会（SCCR）において検討中の放送機関の権利の保護に関する新たなルール作り（放送条約）への対応について、集中的に検討を行うものとして、令和元年度から国際小委員会に設置された。

令和5年の3月、11月に第43、44回 SCCR が開催され、令和6年の4月に第45回 SCCR が開催される予定であることを踏まえ、令和5年11月17日の政策小委員会（国際小委員会を統合）において本 WT の設置が決定された。

2. 開催状況、検討経過

今年度の本 WT は、令和6年2月26日（月）に開催された。

本 WT では、事務局による、放送条約の議長テキストの概要、議論の動向及び論点についての説明と、放送事業者のチーム員による、放送に関する侵害状況や条約への期待についての発表があった。続いて、当該論点を踏まえて、議長テキストにおける「受益者の範囲」及び「保護対象としてのインターネット送信の留保の必要性」などの事項について、我が国としてどのような方針をとり得るか議論し、検討を行った。

3. 今後の予定

次期 WT では、国内外の放送に関する実態・動向の分析を行いつつ、引き続き放送条約における上述の論点等を中心に、WIPO での議論の進展に応じて我が国の対応の在り方の検討を進めていくこととする。

第23期文化審議会著作権分科会 政策小委員会
放送条約の検討に関するワーキングチーム 委員名簿

| | | |
|------------|------------|---|
| いまむら 今村 | てつや 哲也 | 明治大学情報コミュニケーション学部教授 |
| うえの 上野 | たつひろ 達弘 | 早稲田大学法学学術院教授 |
| うちやま 内山 | たかし 隆 | 青山学院大学総合文化政策学部教授 |
| おちあい 落合 | たかふみ 孝文 | 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 プロトタイプ政策研究所所長・ シニアパートナー弁護士 |
| にしわき 西脇 | ひろゆき 博行 | 一般社団法人日本民間放送連盟知財委員会知財専門部会法制部会法制・条約ワーキンググループ主査 |
| ひろいし 広石 | みほこ 美帆子 | 日本放送協会メディア戦略本部 シニア・エキスパート |
| ふち 渕 | まいこ 麻依子 | 神奈川大学法学部准教授 |
| もとやま 本山 | まさひろ 雅弘 | 国士舘大学法学部法律学科教授 |

(五十音順 以上 8名)